

地上デジタルワンセグチューナー 取扱説明書

ALPINE® TUE-T1

目次



安全にお使いいただくために

目次	表紙
警告／注意	2

はじめに

ワンセグについて	4
リモコンご使用にあたって	5
リモコンボタンの機能	6
基本操作	
電源のON/OFF	6

地上デジタルワンセグ放送を見る

地上デジタルワンセグ放送を見る

放送局を自動で記憶させる（チャンネルスキャン）	7
記憶した放送局を呼び出す	7
チャンネル情報を表示する	7



取り付けと接続

取り付けと接続	8
---------------	---

その他

故障かな？と思ったら	15
規格	16
保証について	16
お問い合わせ窓口	17

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様＞
TEL:048-662-6636
- 電話受付時間 9:30～17:30(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>



アルパイン マーケティング株式会社

Designed by ALPINE Japan

Printed in Japan

68M06053J22-O

⚠️安全にお使いいただくために

必ずお守りください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が死亡または重傷を負う可
能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。
事故・火災・感電の原因になります。



禁止

電池・ネジなどの小物類は、幼児の手
の届かないところに保管してくださ
い。飲み込んだ場合には、ただちに医
師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア
数）を守ってください。事故・火災の
原因になります。



禁止



強制

DC12Vマイナスアース車以外に接続
しないでください。事故・火災の原因
になります。



強制

配線作業の前にはバッテリーのマイナ
ス端子からアース線を外して、配線作
業をしてください。感電・ケガの原因
になります。



コードの被覆を切って、他の機器の電
源を取らないでください。火災・感電
の原因になります。



禁止

取り付け・アース接続には、ハンド
ル・ブレーキ・タンクなどのボルトや
ナットを使わないでください。制動不
能・火災の原因になります。



禁止

音や画面が出ない、異物が入った、煙
が出る、変な臭いがしたときには、た
だちに使用を中止して、お買い上げ店
に相談してください。事故・火災・感
電の原因になります。



禁止



強制

運転中は操作をしたり、画面を見たり
しないでください。事故・ケガの原因
になります。操作や画面を見る場合に
は、安全な場所に停車してください。



禁止

コード類は運転操作の妨げとならない
ように束ねてください。ハンドル・変
速レバー・ブレーキペダルなどに巻き
付くと、事故・故障の原因になります。



車体に穴をあける場合には、パイプ・
タンク・電気配線などを傷つけないで
ください。事故・火災の原因になりま
す。



前方の視界を妨げる場所、ハンドル・
変速レバーなど運転操作を妨げる場
所、同乗者に危険を及ぼす場所には、
取り付けしないでください。事故・ケガ
の原因になります。



禁止

助手席エアバッグの近くに製品を取り
付けしないでください。エアバッグの動
作を妨げ、事故・ケガの原因になりま
す。



禁止

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いを
すると、人が傷害を負う危険が想定され
る内容および物的損害のみの発生が想定
される内容を示しています。

説明書に従って、正しく接続してくだ
さい。火災・事故の原因になります。



禁止

コードをシートレールにはさんだり、
突起部に当てたりしないでください。
断線やショートにより、感電・火災の
原因になります。



通風孔・放熱板をふさがないでくだ
さい。火災・故障の原因になります。



禁止

付属部品を指定通りに使い、しっか
り取り付けてください。事故・故障の
原因になります。



禁止

水のかかるところ、湿気やホコリの多
いところには取り付けしないでくだ
さい。火災・故障の原因になります。



禁止

取り付け・配線には、専門技術と経験
が必要です。お買い上げ店に依頼して
ください。



車外の音が聞こえる音量でお使いくだ
さい。事故・故障または聴力障害の原
因になります。



車以外には使わないでください。
感電・ケガの原因になります。



禁止

新旧の電池を混ぜる、指定外の電池を
使用する、極性を間違えるなど、しな
いでください。電池の破裂・液漏れや
火災・ケガの原因になります。

**取り扱い上のご注意(共通)****本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない**

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。

また、リモコンスターター、カーセキュリティも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

製品のお手入れ

お手入れは乾いた布が強く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い(炎天下駐車)ときや低い(厳冬期駐車)ときは、常温になってからお使いください。

取り付け上のご注意**本機の設定場所について**

本機は、車内の温度が極端に高くなる場所や、極端に低くなる場所には設置しないでください。特に直射日光の当たる場所や、シート下のエアコン吹き出し口近くなど、高温となる場所を避けて取り付けてください。

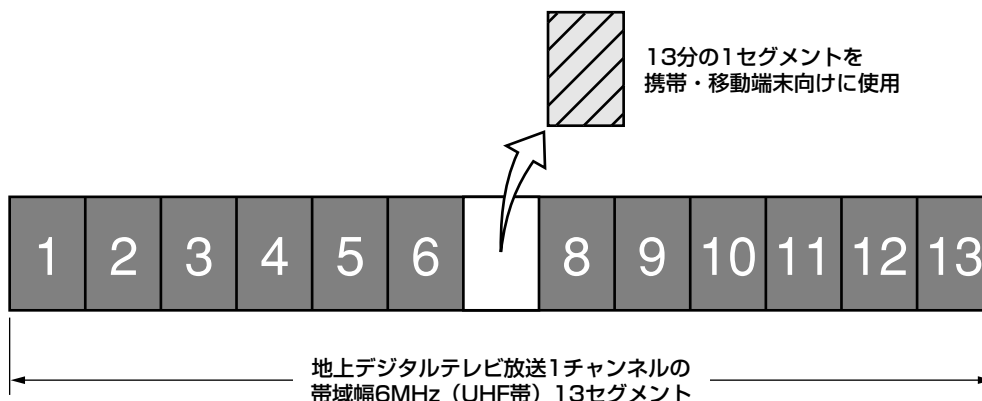
また、チューナーボックス等は、他の機器と決して積み重ねて設置しないでください。事故の原因になります。

ワンセグについて

■ ワンセグとは？

ワンセグは、地上デジタルテレビ放送（UHF 帯）で使用している 1 チャンネル 6MHz の帯域幅を 13 のセグメントに分割し、その 1 セグメントを使った携帯・移動端末向けの地上デジタルテレビ放送サービスです。1 セグメントを用いることから「ワンセグ」と呼ばれています。

2006 年 4 月 1 日から三大広域圏（都市圏）と 13 の県の放送局で放送が開始され、他の地域でも順次放送が開始されていきます。（開始時期は、それぞれの放送局で異なります。）



■ 地上デジタル放送の特徴

- (1) 16:9 のハイビジョンと同じ縦横比率 ※¹
- (2) ワンセグ独自のデータ放送サービス
- (3) 地上デジタルによる移動体受信でも安定したゴーストのない鮮明な映像・音声の視聴

※¹ 映像を H.264 方式で圧縮しており、携帯端末など小画面を対象とした簡易動画です。
ハイビジョンではありません。

- ワンセグは、地上デジタル放送のサービスのひとつです。
- 視聴できるチャンネル数は地域によって異なります。
- ワンセグの放送受信（映像・音声・データ放送）に、お申込は不要です。
- ワンセグに関するサービスの詳細については、下記のホームページなどで確認ができます。
社団法人地上デジタル放送推進協会 <http://www.d-pa.org/>

リモコンご使用にあたって

リモコン使用時のご注意

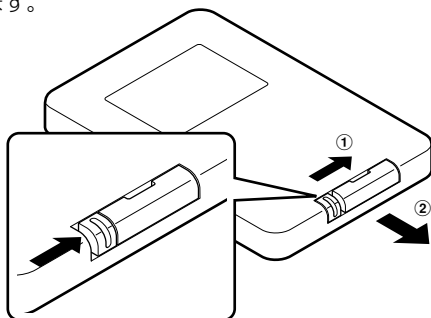
- リモコンは、リモコン送信部をテレビモニターのリモコンセンサーに向け2メートル以内でお使いください。
- リモコンセンサーに直射日光が当たっていると、操作できない場合があります。
- リモコンは小型軽量の精密機械です。破損、電池の早期消耗、誤動作や操作感の悪化の原因にならないよう、次の点に注意してお使いください。
衝撃を加えない・ズボンのポケットに入れない・飲み物をかけない・湿気や埃を避ける・直射日光の当たる場所に置かないでください。
- **リモコン使用時のご注意**
アルパイン製DTV対応モニターに接続の際は、付属のリモコンは使用できません。

電池を入れる

電池はリチウム電池（CR2025）をご使用ください。

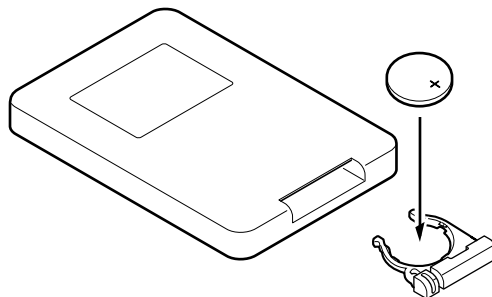
1 電池ホルダーを外す

矢印①の方向へ押しながら、矢印②の方向へ押し出します。



2 電池を入れる

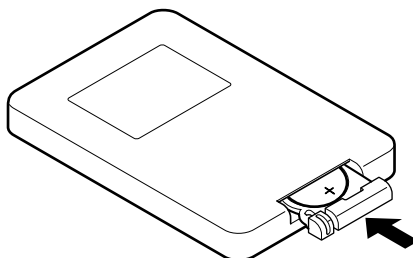
図のように（+）側を上に向けて、電池を入れてください。



- 電池の極性を逆に入れると故障の原因になります。

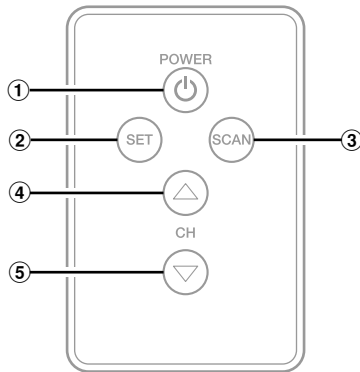
3 電池ホルダーを閉める

電池ホルダーを“カチッ”と音がするまで差し込みます。



警告
運転中は操作をしたり、画面を見たりしないでください。
事故・ケガの原因になります。操作や画面を見る場合には、安全な場所に停車してください。

リモコンボタンの機能



- ① **POWER ボタン**
電源 ON/OFF 切りかえ
- ② **SET ボタン**
チャンネル情報表示（放送局名、チャンネル番号表示）の切りかえ
- ③ **SCAN ボタン**
2 秒以上押しで、チャンネルスキャン開始
チャンネルスキャン中：スキャン停止
- ④ **CH Δ（チャンネルアップ） ボタン**
スキャンしたチャンネル のUP
- ⑤ **CH ▽（チャンネルダウン） ボタン**
スキャンしたチャンネル のDOWN

基本操作

電源の ON/OFF

本機の電源を ON / OFF します。

- 1 **POWER** を押す。
電源が入る。
- 2 電源を切るときは、再度 **POWER** を押す。



Memo

- 接続するTVモニターの取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 本機の電源がONのままイグニッションキーをOFFにした場合、次にイグニッションキーをACCまたはONにすると自動的に本機の電源もONになります。
- 音量調整は、TVモニターまたはヘッドユニット側で行ってください。

地上デジタルワンセグ放送を見る

放送局を自動で記憶させる (チャンネルスキャン)

現在受信できる放送局を自動的に探して、プリセット番号に記憶することができます。

- 1 **SCAN** を2秒以上押す。
チャンネルスキャンを開始します。スキャンが終了するとプリセット番号に記憶されます。



- 最大12局まで記憶されます。
 - チャンネルスキャンは受信状況により時間がかかります。スキャンが終了するまでお待ちください。
 - チャンネルスキャン中にもう一度**SCAN**を押すと、スキャンを中止します。
 - すでに記憶されている放送局がある場合は、新しく記憶した内容に書き換えられます。
 - 同じ地域でチャンネルスキャンを行っても、受信状況により記憶される放送局が異なる場合があります。
- ※ 緊急警報放送や臨時で一時的に運用される放送サービス(臨時サービス)などが放送されている場合は、それらの放送サービスも記憶されます。

記憶した放送局を呼び出す

あらかじめ記憶(プリセット)されている放送局を受信します。

- 1 **CHΔ** または **CH▽** を押してプリセット番号を選ぶ。
CH Δ: プリセット番号が1つずつアップします。
CH ▽: プリセット番号が1つずつダウンします。

タッチ操作ガイド

項目	処置	タッチ操作	
		IVA-D310/D305	TVE-T860
チャンネルスキャン	SCAN	EPG	P.DN/P.UP 2秒以上押す
記憶した放送局を呼び出す	CH▽ CHΔ	P.DN/P.UP	P.DN/P.UP
チャンネル情報表示	SET	CH DN/CH UP	DISP

チャンネル情報を表示する

受信中の放送局について、放送局名、チャンネル情報、プリセット番号を表示します。

- 1 放送局を受信中に、**SET** を繰り返し押す。
押すたびに表示される内容が変わります。



↓ **SET** を押す。



↓ **SET** を押す。



地上デジタルワンセグ放送を見る

SET を押す。

■ チャンネル情報画面の見かた



- ① **放送局名**
現在受信している放送局名が表示されます。
- ② **プリセット番号**
現在受信しているチャンネルのプリセット番号が表示されます。
- ③ **3桁チャンネル番号**
現在受信しているチャンネル番号が表示されます。

取り付けと接続

取り付けや接続の作業を行う前には、必ず2～3ページをよくお読みの上、正しい作業をしてください。説明書の指示を守らなかった事による不具合に対して、当社は責任を負いかねます。

1. 正しい作業のコツ

- ここからの説明は、専門技術と経験のある方を対象にしています。
- 車のインパネなどの「取り付け取り外し情報」を販売店から入手してください。
- 動作確認の際に本機の操作を行いますので、本説明書の操作説明部も必ずお読みください。
- 組み合わせる製品の取付説明書も合わせてご覧ください。
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種（外国車など）では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。詳しくは、ディーラーへお問い合わせください。
- 希望する取り付け位置に対して、コードの長さが十分にあることを確認してください。
- 接続の際は、コードに付いているラベルや本説明書を確認しながら、注意して行ってください。
- 音声出力ケーブルを接続するときは、コード端子の色とターミナルの色を合わせてください。

・RCAコード、ピンコード

家庭用機器の信号の受け渡しに利用されるRCA考案のコネクター付きコードをいいます。カーオーディオはもちろん家庭のステレオ／ビデオ／テレビ等に幅広く採用されています。白がオーディオの左チャンネル、赤が右チャンネル、黄色がビデオ信号です。

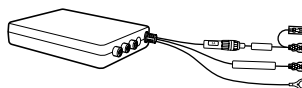
- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 不明な点はお買い上げの店／インフォメーションセンターにお問い合わせください。

2. 準備

- 車を平坦で安全な場所に停める。さらに、パーキングブレーキをかけ、イグニッションキーを抜く。
- 付属部品を確認し、工具／取り付け情報をそろえる。

本体関連部品

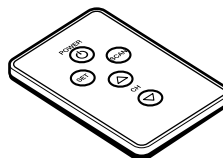
本体
(コード：各2.5m)



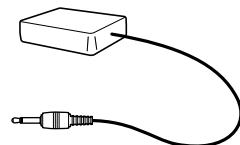
PIN接続コード(3m)



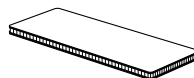
リモコン



リモコン受光ユニット
(コード：3m)



マジックテープ



×2

コードクランプ(金属)



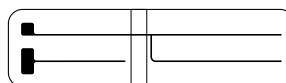
×3

電池(CR2025)



フィルムアンテナ関連部品

フィルムアンテナ(1枚)



アーステープ(1枚)



アンテナコード(4m)



クリーナー(1枚)



コードクランプ
(プラスチック)



×3

- バッテリーのマイナス端子を外す。

⚠ 注意

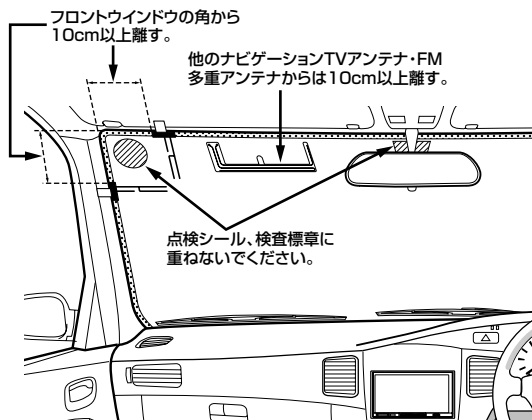
- コンピューターが装着されている車は、バッテリーのマイナス端子を外すとメモリーが消えてしまうことがあります。
- 一部の車種(外国車など)では、バッテリーのマイナス端子を外すと、電装系に不具合が生じる場合があります。

3. フィルムアンテナの取付

- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直しできません。
- フィルムアンテナ貼り付け前に必ずフィルムアンテナとコードを仮止めて、コードの長さが十分にあること、およびテレビ、ラジオにノイズが入らないことを確認してください。
- 本フィルムアンテナは、フロントガラス専用です。フロントガラス以外の場所には貼り付けしないでください。
- フロントピラーにエアバックを搭載している車には、取り付けることはできません。
- 熱線反射タイプまたは熱線吸収タイプのガラスには、電波を通さないものがありますのでご注意ください。詳しくはカーディーラーへお問い合わせください。
- 車室内に貼り付けるアンテナはエアコン用モーターなどから出るノイズにより、テレビの映りが悪くなることがありますが故障ではありません。
- 車種によっては貼り付けられない場合があります。その場合はお買い上げの販売店にご相談してください。
- フロントウインドウにタテ50mm×ヨコ100mm(アンテナをタテ向きに貼る場合は、タテ100mm×ヨコ50mm)の1枚分のスペースが無い車には貼り付けることができません。
- フィルムアンテナの透明フィルムやアンプのウラシートをはがした後は、給電端子などに手を触れないでください。静電気による故障や汗などの汚れで接触不良の原因となります。
- ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両には貼り付けることができません。
- 必ずフロントウインドウの指定された位置・寸法内に貼り付けてください。
- フィルムアンテナを折り曲げないように、注意して取り扱ってください。
- 作業場所は風が無く、空気中にゴミ、ホコリなどが無い場所を選んでください。
- 気温が低い時に作業を行う時は、接着力の低下を防ぐため車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントウインドウを暖めてから作業を行ってください。
- フロントウインドウにTVアンテナ・FM多重用フィルムアンテナ(別売)などをすでに貼り付けている場合は、各アンテナから10cm以上程度離して貼り付けてください。このため指定の位置や寸法内に貼り付けられないことがあります。その場合はお買い上げの販売店にご相談してください。

1. フィルムアンテナの貼り付け位置を確認する。

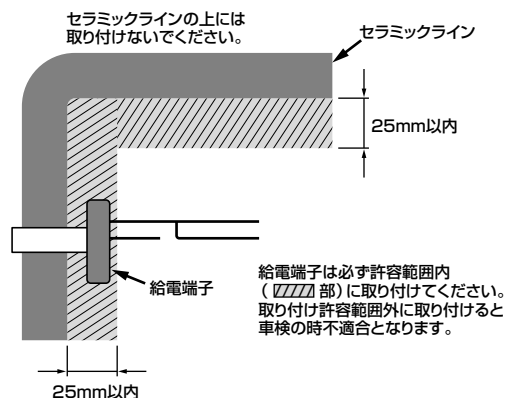
- 1) フィルムアンテナの給電端子をセラミックラインの左右両端に合わせ、セロハンテープで仮止める。



Memo

- フィルムアンテナは以下の点に注意して取り付け位置を決めてください。
 - ・給電端子のアース部が車両の金属部にしっかりと貼り付けられる。
 - ・フロントウインドウのセラミックラインにかからない。
 - ・車両の定期点検ステッカー・検査標章(図の斜線部)にかからない。
 - ・運転の妨げにならない。
- アース部は、必ず車両金属部分に貼り付けてください。それ以外に貼り付けた場合は、受信感度が低下し本来の性能が発揮できなくなります。

■取り付け許容範囲について



- 運転に安全な視野を確保し、性能を十分に発揮させるために必ず「アンプ部の貼り付け許容範囲」の位置に貼り付けてください。アース部を車体の金属部に貼り付けてピラーなどの内張りでおさえるため、車体の金属部に届く範囲に貼り付けてください。また、許容範囲外に貼り付けると国土交通省の定める道路運送車両の保安基準に適合せずに、車検が通らなかったり、整備不良の対象となります。

- 2) フィルムアンテナの左右の位置をセロハンテープ等でマーキングする。

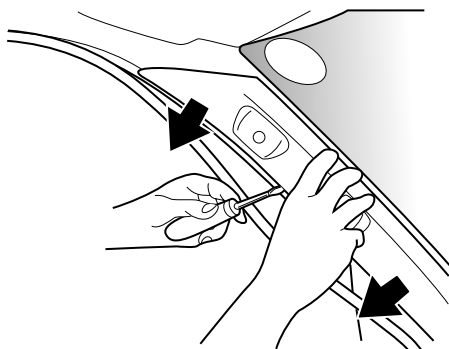
取り付けと接続

2. アンテナコードを配線するために、内装部品（内張りなど）を取り外します。

※ ここではまだ配線しないでください。

1) フロントピラー（内張り・左右）を取り外す。

また、フロントウィンドウ上側の車体面にて作業するため、必要に応じてマップライト、サンバイザー、天井の内張り等も外す。

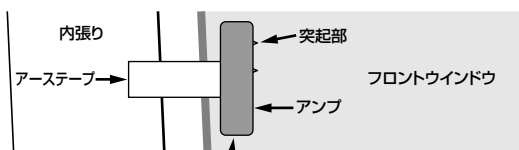


注意

- 樹脂製の内装部品はツメや突起等で固定されており、無理に外すと破損したり変形することがあります。
- 貼り付けるウィンドウにFM/AMラジオアンテナが内蔵されている場合や他のフィルムアンテナが貼りつけられている場合は、干渉を避けるためアンテナが重ならないように、十分離して貼り付けてください。
- フィルムアンテナはとてもデリケートな為、作業時の取り扱いには十分ご注意ください。

3. アンプの仮位置を決める。

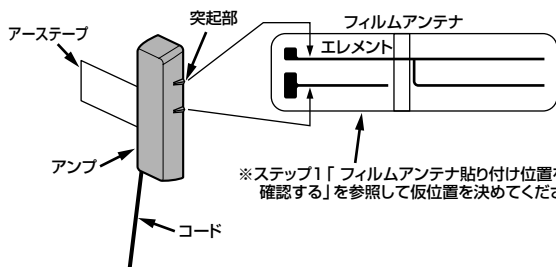
フィルムアンテナの貼り付けの際、車内の内張り（ピラー、ルーフィングなど）にアンプが当たらないように仮位置を決めます。



※ 「取り付け許容範囲について」を参照して仮位置を決めてください。

4. フィルムの仮位置を決める。

フィルムアンテナのエレメントとアンプカバー側面にある突起部が合うように仮位置を決めます。

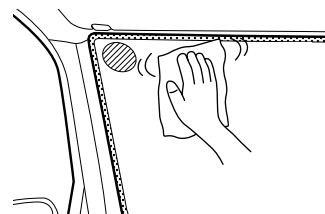


※ ステップ1「フィルムアンテナ貼り付け位置を確認する」を参照して仮位置を決めてください。

5. コードを引き回す仮位置を決める。

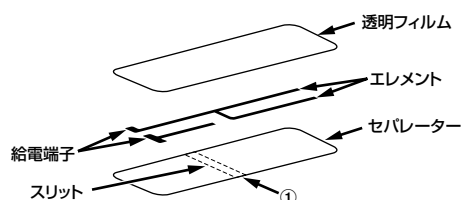
6. フロントウィンドウ内側の汚れ、油などを取り除く。

フィルムアンテナを貼り付ける場所の湿気、ホコリ、汚れ、油などを付属のクリーナーで取り除いてください。



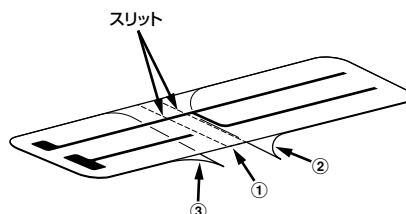
7. フィルムアンテナのセパレーターをはがす。

フィルムアンテナは3層に分かれています。スリットの入っている①部分のセパレーターをはがしてください。



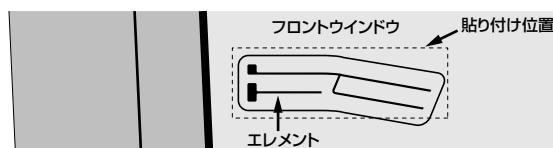
フィルムとセパレーターの間にエレメントが挟まれています。（エレメントの広い部分が給電部です。）

残りのセパレーター②の部分と③の部分をスリットからはがし、フロントウィンドウに密着させてください。



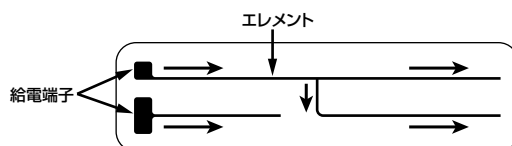
8. フィルムをフロントウィンドウに貼り付ける。

フロントウィンドウ面の貼り付け位置にフィルムアンテナを合わせて貼り付けます。その際、エレメント部分に空気が入ったり、シワが寄らないようにゆっくりと端から貼り付けます。



※ 必ず乾いたフロントウィンドウに貼り付けてください。

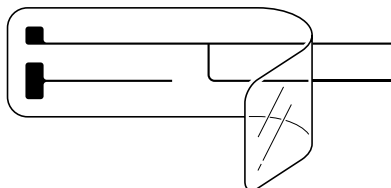
※ 残った透明フィルムの給電端子とエレメント上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。（加圧が不足すると透明フィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線する恐れがあります。）



エレメントにそって柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。

9. フィルムをはがす。

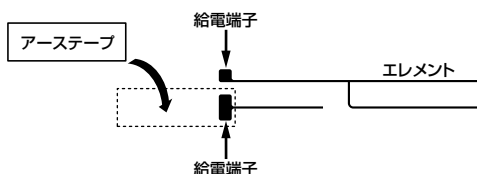
エレメントがフロントウインドウ面に貼り付いていることを確認しながら、ゆっくりと丁寧にフィルムをはがしていきます。



※ エレメントがフィルムと一緒にはがれた場合は、フィルムを元に戻して再度エレメント上から柔らかい布、樹脂ヘラなどで丁寧にしごいてください。

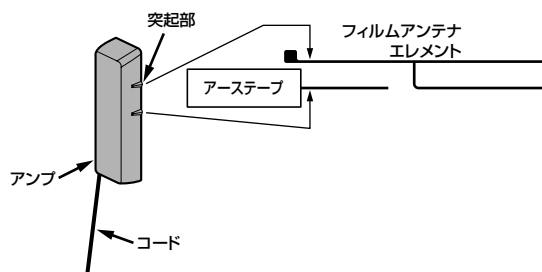
10. アース部の貼り付け

アーステープを下図のようにエレメント部分にある給電端子に合わせてください。



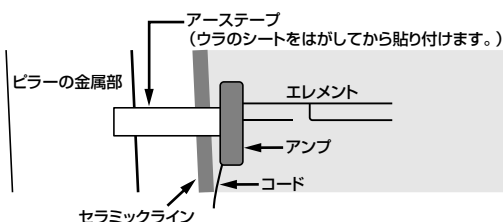
11. アンプをエレメントに貼り付ける。

フィルムアンテナのエレメントとアンプカバー側面にある突起部が合うように貼り付けます。



12. アース部を車の金属部に貼り付ける。

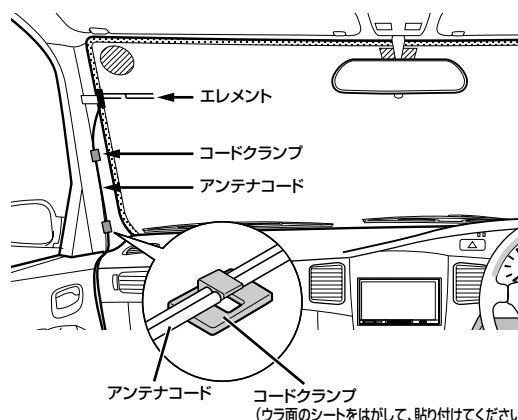
アーステープのウラにあるシートをはがしてピラーの金属部に貼り付けます。



13. コードを配線する。

コードクランプでアンテナコードを固定しながら配線し、アンテナコード類は運転操作の妨げとならないように配線してください。

＜車内からみたアンテナコード配線例＞



※ 安全な視界が確保できるようにアンテナコードを配線してください。

14. 配線および内装部品（内張りなど）を元に戻す。

- 1) アンテナコードのプラグをチューナーBOXへ接続する。（「基本接続図」（13ページ）を参照してください。）
- 2) 付属のコードクランプを使用して、仮止めしていたコード類を固定し、内装部品（内張りなど）を元に戻す。

⚠ 注意

- 天井などの内装部品に無理な力を加えたり、折り曲げないように注意してください。
- 給電端子は正しい位置に貼り付けないと、端子のズレや浮きなどの原因になり、本機の性能が発揮できません。
- 給電端子に負担を掛けないように給電端子を手で押さえながらコードの配線を行ってください。

4. 接続する

1. 13 ページの基本接続図を参照して接続する。

- 他の製品と組み合わせた接続例も記載しています。
(14 ページ参照) ご希望の組み合わせを確認しながら作業を進めてください。
- 誤接続を防ぐために、接続することに✓点をつけてください。

2. 接続は「奥までしっかり差し込んで」ください。誤接続を避ける為に、接続するたびに接続図にチェックマークを書き込んでください。

- 接続しないコードは、コードの端にビニールテープを巻いてください。
- 接続の際は、それぞれの製品に付属されている専用コードをご使用ください。なお、関連製品の接続に関する説明書も合わせてご覧になり、作業を進めてください。

3. 正しく接続されているか、✓点がもれているところはないか確認する。

4. バッテリーマイナス端子を接続する。

5. イグニッションキーをON にして本機電源を入れ、音が正しく出ているかなどを確認する。

- 固定する前に動作確認しておけば安心です。正しい動作をしない場合は、もう一度接続を確認してください。

6. 本機の電源を切る。

7. イグニッションキーを抜いて、バッテリーマイナス端子を外す。

5. 取り付ける

本体を取り付ける

本体を設置する場所は必ず平らな所を選んでください。

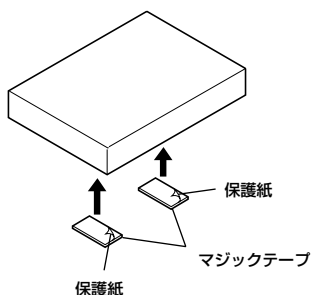


注意

- 水のかかるところ、湿気やホコリの多いところには取り付けしないでください。火災・故障の原因になります。
- ダッシュボードの上などの高温になる場所への設置は避けてください。
- エアコンの送風が直接あたる場所への設置は避けてください。
- 本機は助手席シート下への設置を推奨します。

1. マジックテープを使って本体を取り付ける。

本体に付属のマジックテープを貼り付け、助手席の下などのフロアカーペットに固定する。



Memo

- 車両雑音から守るために
- ・ アースコードを車体の金属部分に確実ににつなぐ。
(ノイズが出るときはアースの場所をかえてみる)
- ・ 本機や本機からのコードを車両配線から離す。
- ・ バッテリー電源コードとPINコードは離す。
- ・ ノイズサプレッサーを使う場合は、できるだけ本機から離す。

リモコン受光ユニットを取り付ける



Memo

- アルパイン製リモコン受光部内蔵のモニターを使用する場合は、取り付けの必要はありません。
- 両面テープ貼り付けの際は、貼り付け面の光沢剤、ゴミ、ホコリなどをよく拭き取ってください。

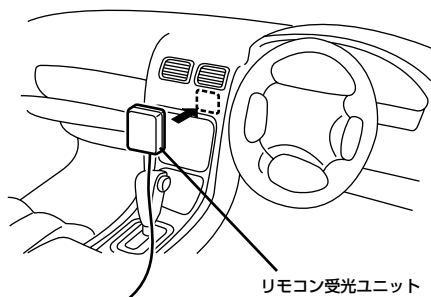


注意

- 前方の視界を妨げる場所、ハンドル・変速レバーなど運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けしないでください。事故・ケガの原因になります。
- エアバッグの近くに製品を取り付けしないでください。エアバッグの動作を妨げ、事故・ケガの原因になります。

1. リモコン受光ユニットを貼り付ける。

リモコン受光ユニット裏面のはく離紙をはがし、車内の適当な所(ダッシュボード等のリモコンが作動する範囲内)に貼り付ける。



6. 確認する

1. コード類を固定する。

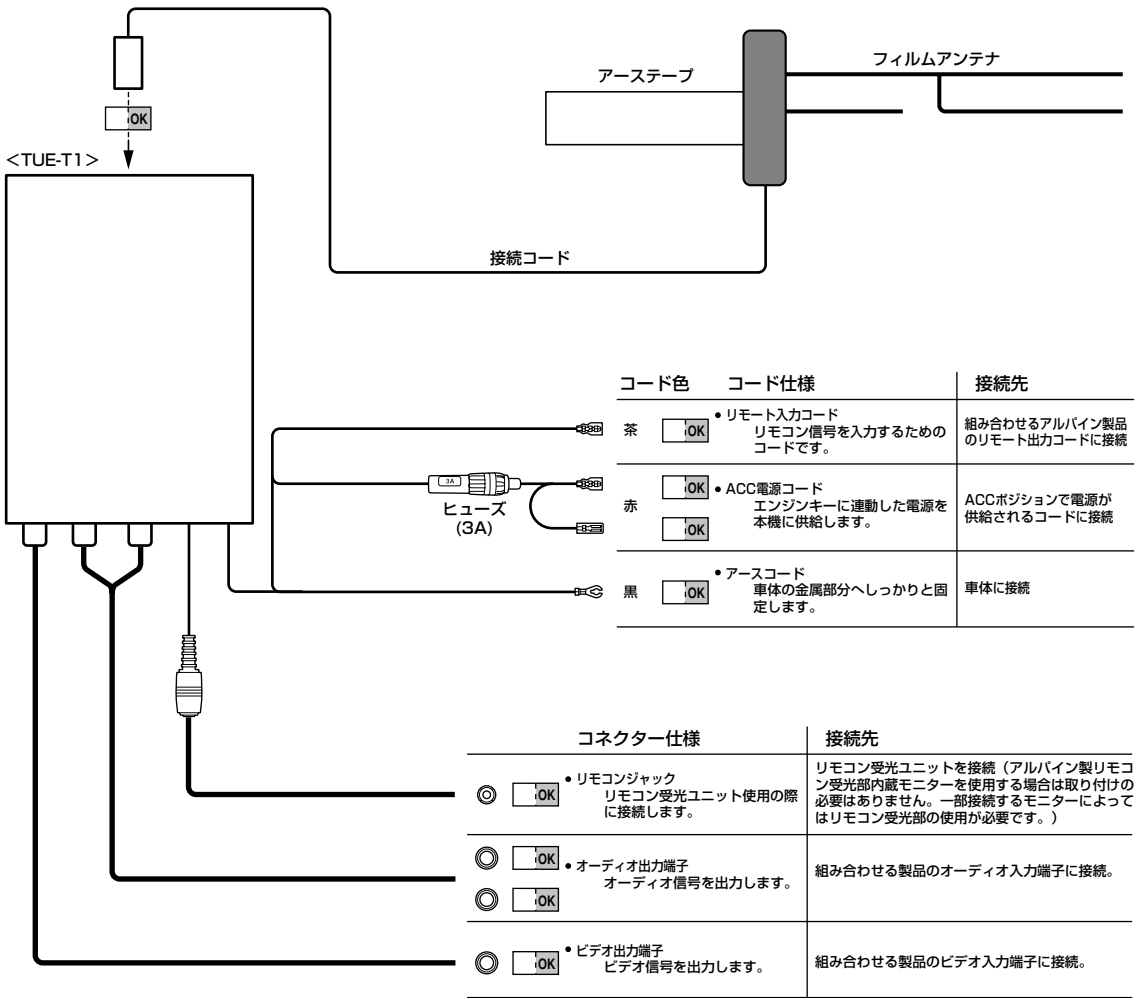
シートレールなどの可動部に挟み込んだり、突起部に当たったりして、コードを傷めないように注意して固定する。

2. バッテリーマイナス端子を接続する。

3. イグニッションキーをON にして、本説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

4. ホーン (クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

基本接続図



取り付けと接続



注意

正しい接続をする。
記載してある接続先以外には接続しないでください。



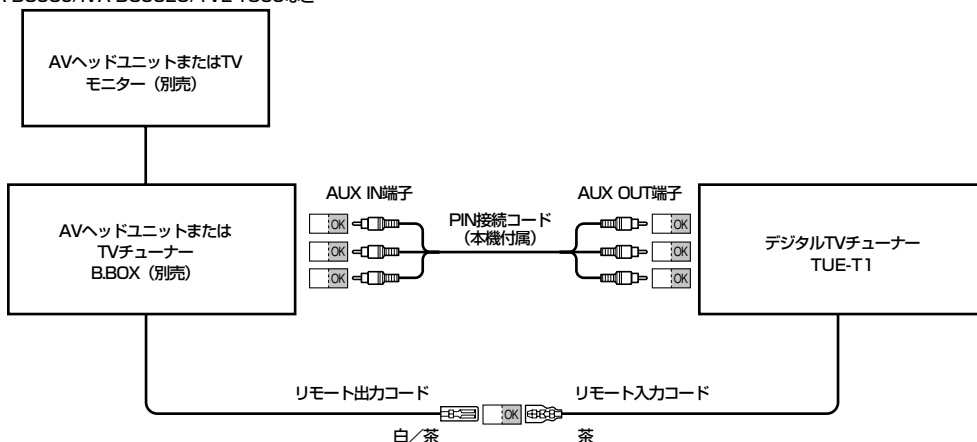
Memo

● リモコン受光ユニットは他社製モニターと接続するときに使用します。

取り付けと接続

- アルパイン製 AV ヘッドユニット、またはアルパイン製 TV モニターを接続する。

IVA-D305J/IVA-D305EU/TVE-T860など



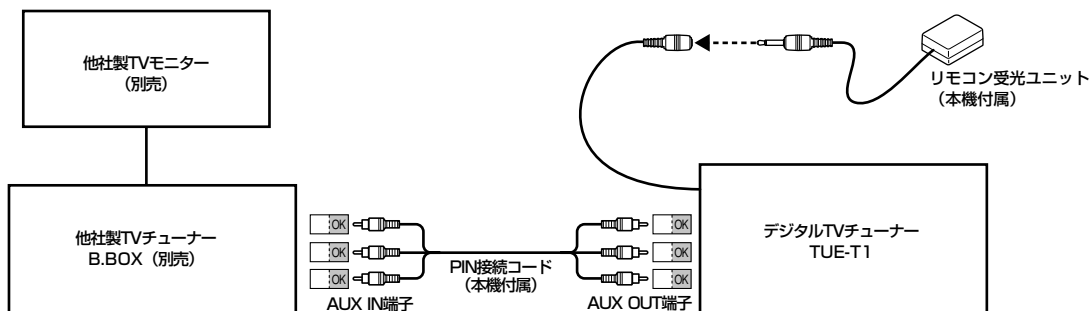
- ⚠ 注意**
- DTVモード対応のモニターに接続の際は、付属のリモコンは使用できません。
 - リモート入力コードを接続の際は、リモコン受光ユニットを接続しないでください。



Memo

- INA-HD55シリーズ/IVA-D305/IVA-D310/TVE-T860などからタッチ操作を行うことができます。その際は、外部入力の実表示名をDTVに設定してください。設定方法に関しては、各製品のオーナーズマニュアルを参照ください。

- 他社製 TV モニターを接続する。



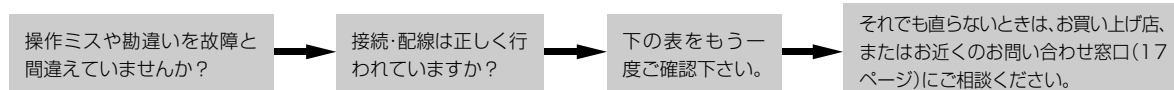
- ⚠ 注意**
- リモコン受光ユニットが必要です。しっかりと奥までリモコンジャックを接続してください。



Memo

- リモート入力コード（茶）は、他社製TVモニターと接続する場合は、使用しません。

故障かな？と思ったら



操作中に停止したままになったり、画面が暗くなるなど正常に動作しなくなった場合は、一度イグニッションキーをON/OFFしてください。それでも正常動作しない場合は以下の表を参照して処置を行ってください。

症 状	原 因	対 処	参照ページ
動作しない。	電源が入っていない。	モニターおよび本機の電源を入れる。	P6
画面が立ち上がらない。	ヒューズが切れている。	所定容量のヒューズと交換する。	P13
	リモコン受光ユニットがしっかり挿入されていない。	リモコンジャックをしっかりと奥まで接続する。	P14
Hi-Tempを表示して電源がOFFになる。	周囲の温度が高い。	窓を開けてしばらく走行するなど、車内の温度を下げる。	
動作が不安定。	リモコンの電池が消耗している。	リモコンの電池を交換する。	P5
	リモコンの受光部、送信部が汚れている。	受光部、送信部を清掃する。	
地上デジタル放送が受信できない。	地上デジタル放送用のアンテナが接続されていない。	添付の地上デジタル放送用のアンテナを接続する。	P13
	放送が行われていない。	地上デジタル放送が行われているか、もよりの放送局にお問い合わせください。	
リモコンが効かない。	アルパイン製DTVモード対応のタッチパネルモニターに接続している。	タッチパネルのみの操作となります。	P14

※ 接続している製品（TV モニターなど）の取扱説明書もあわせてご覧ください。

規格

チューナー部

受信周波数	473.143～767.143MHz (UHF 13ch～62ch)
実用感度	-75dBm (ANT1)

接続端子

ビデオ出力	ピンジャック、同期負、1 Vp-p
オーディオ出力	2チャンネル、ピンジャック 出力：250mVrms チャンネルセパレーション：90dB

リモコン部

使用電源	CR2025 × 1 DC3V
外形寸法	39.8 (幅) × 65.5 (奥行) × 6.9 (高さ) mm
重量	15g (ボタン電池含む)

一般

使用電源	DC14.4V (動作範囲: 11～16V)
アース方式	マイナスアース
動作温度範囲	-5℃～+50℃
保存温度範囲	-20℃～+80℃
外形寸法	94.5 (幅) × 23 (高さ) × 116 (奥行) mm
重量	0.18 kg

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本説明書のイラストは印刷条件により印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

保証について

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買い上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- 調子が悪いとき
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも調子が悪いとき
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
お買い上げ店、または17ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口にて、修理を依頼してください。

- 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- 補修用性能部品
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買い上げ店、または17ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

(AV/NAVI/MD/3D)

(平成 18 年 11 月 1 日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記の「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

お問い合わせはインフォメーションセンターへ

- インフォメーションセンター
＜一般回線ご利用のお客様用＞
TEL:0570-006636
※全国どこからでも市内通話料金でご利用頂けます。
＜携帯電話等、移動体通信ご利用のお客様用＞
TEL:048-662-6636



- 電話受付時間 9:30～17:30
(土日、祝日、弊社休業日を除く)
- 電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。
FAX:048-662-6676
- アルパイン ホームページ <http://www.alpine.co.jp>

営業所・販社名	電話番号	住所	担当 都道府県
北日本エリア 仙台オフィス 札幌オフィス 郡山オフィス	022-239-5331 011-621-4485 024-925-3811	〒983-0031 宮城県仙台市宮城野区小鶴字羽黒 104-1 〒064-0821 北海道札幌市中央区北 1 条西 22 丁目 2 番 1 号 上野ビル 〒963-8051 福島県郡山市富久山町八山田字土布池 11 番 5 号	宮城県 / 山形県 / 秋田県 / 青森県 / 岩手県 北海道全域 福島県
北関東エリア 北関東オフィス 松本オフィス 新潟オフィス	048-664-7701 0263-26-0783 025-257-8680	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2 丁目 7 番 2 号 〒390-0487 長野県松本市世部 1 丁目 3 番 7 号 オフィス GB205 号 〒950-0852 新潟県新潟市石山 1 丁目 3-6 エクセレント石山	東京都北・西部 / 埼玉県 / 群馬県 / 栃木県 長野県 / 山梨県 新潟県
東関東エリア 東関東オフィス	03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町 2-406-1	東京都東部 / 千葉県 / 茨城県
南関東エリア 南関東オフィス	045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市港北区新羽町 1767 番地 アルプス電気横浜事業所内 5F	東京都中・南部 / 神奈川県 / 静岡県(大井川以東)
中部圏エリア 中部オフィス	052-779-5655	〒465-0021 愛知県名古屋市中東区猪子石 3 丁目 108	愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 静岡県(大井川以西) / 石川県 / 富山県 / 福井県
近畿圏エリア 大阪オフィス	06-6386-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	大阪府 / 奈良県 / 和歌山県
中四国エリア 岡山オフィス 広島オフィス	086-243-8257 082-846-1175	〒700-0975 岡山県岡山市今 4 丁目 5 番 2 号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区祇園 2 丁目 11 番 16 号	岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 徳島県 / 香川県 / 愛媛県 広島県 / 山口県
九州エリア 福岡オフィス 長崎オフィス	092-452-8870 095-727-1581	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂 3 丁目 23 番 2 号 ヒロタビル 7 号 〒854-0074 長崎県諫早市山川町 3 の 13	福岡県 / 大分県 / 佐賀県 / 熊本県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県 長崎県
アルパイン京都販売(株)	075-671-9400	〒601-8101 京都府京都市南区上鳥羽高島町 88-2	京都府 / 滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原 133 の 1	兵庫県
マークエンタープライズ(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町 3 丁目 10 番 8 号	高知県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町 2-7-2	北海道 / 青森県 / 岩手県 / 秋田県 / 山形県 / 宮城県 / 福島県 / 栃木県 / 茨城県 / 群馬県 / 東京都 / 神奈川県 / 埼玉県 / 千葉県 / 新潟県 / 長野県 / 山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-6386-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町 3 丁目 18 番 14 号	静岡県 / 愛知県 / 三重県 / 岐阜県 / 福井県 / 富山県 / 石川県 / 滋賀県 / 京都府 / 大阪府 / 和歌山県 / 奈良県 / 兵庫県 / 岡山県 / 島根県 / 鳥取県 / 広島県 / 山口県 / 香川県 / 愛媛県 / 徳島県 / 高知県 / 福岡県 / 佐賀県 / 大分県 / 熊本県 / 長崎県 / 鹿児島県 / 宮崎県 / 沖縄県

[illegible]

MEMO

[illegible]



古紙配合率100%再生紙を使用しています